



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 ☑(076)221-5398

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/>

国際会長主題	「一つとなる力」“The Power of One”
アジア地域会長主題	「一つとなる力」“The Power of One”
スローガン	「夢見るアジア、愛するアジア」“Dreaming Asia, Loving Asia”
西日本区理事主題	「すべてのいのちを大切に—いのち・平和・環境—」 “Love & Care for All the Living Things—Life, Peace, Environment—”
中部部長主題	「ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう」
金沢犀川クラブ会長主題	「基本を踏まえて、もっと楽しく」 “Let's return to our beginning and enjoy volunteering again”
会長：三谷信三 副会長：川村孝治 書記：北 肇夫 会計：高木啓一 直前会長：平口哲夫	

今月の聖句：高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。
ローマの信徒への手紙 8 : 39

2010年6月強調月間

評価・計画

今年度の評価反省を的確にまとめて、やりたいことと出来ることを見つけましょう。
そこから次の計画が生れるでしょう。 鈴木誠也 理事

☆☆☆6月第一例会案内☆☆☆	☆☆☆5月例会報告☆☆☆
日時：6月10日(木)19:00~21:00 場所：兼六城下町“ホテル兼六”2階「時雨の間」 金沢市兼六町2-5 TEL 076-210-8111 会費：2,500円 ***プログラム*** 司会：川村君 開会・点鐘：三谷会長 ワイズソング：一同 今月の聖句：司会者 食前の感謝：平口君 ——会 食—— 「今年度の評価と次年度に向けての計画を協議」 事業委員報告：各委員 ニコニコタイム：高木君 閉会・点鐘：三谷会長 *使用済み切手をご持参ください。	[第一例会] 日時：5月27日(木)19:00~21:00 場所：兼六城下町“ホテル兼六”2階「時雨の間」 卓話：「ホテルの飛び交うまちづくり」 新村 光秀 氏(石川ホテルの会事務局長) 出席者：川村君・北君・作田君・澤瀬君・高木君・平口君・三谷君(犀川クラブ)、伊藤仁信さん(金沢クラブ)、中本美香さん、松原繁子さん、島村 博さん、竹内 勉さん、東野英一さん、中山一昭さん、西田一夫さん [第二例会] 日時：5月13日(木)19:00~20:30 場所：金沢 YMCA 出席者：川村君、北君、澤瀬君、高木君、平口君 今月のハッピーバースデー 該当者はありません 7月の当番 司会：作田君、準備：澤瀬君 第13回西日本区大会：6月12日(土)~13日(日)、広島で開催。澤瀬君、平口君、三谷君が参加予定。

当クラブ	5月出席者	5月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 7名	メン 7名	100.0%	前年度繰越 1,711g	5月分 11,420円
広義会員 0名	メネット 0名		5月分切手 200g	
	ビジター 1名	メイキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 8名		切手 670g 現金 0円	
合計 7名	16名	100.0%	合計 2,381g	累計 84,841円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 5月第一例会に参加して ◆

作田 健意

5月27日(木)に開催された5月第一例会で、新村光秀氏(石川ホテルの会事務局長)による卓話「ホテルの飛び交うまちづくり」を拝聴して、自分の子供の頃のことを懐かしく思い出された。

夕食後、仕事で疲れている父親に連れられて村はずれに行くと、沢山のホテルが飛び交っていて、そのすばらしい光景を見て大いにはしゃいだものである。

ゲンジホテルとヘイクホテルとでは育つ場所も住む場所も違うということを、新村氏のお話で初めて知った。環境変化でホテルを見ることができ場所が少なくなってしまうことを残念に思う。ホテルの復活を切に願う。



要旨:ホテルは、日本人にとって大変身近な生き物であり、優しさや懐かしさを感じさせてくれる。しかし、ホテルが生息する水田は宅地化され、用水はコンクリート化され、生息地は減少してきている。そういう中で、近年、生息環境の復元に取り組む活動が盛んになりつつある。ホテルの生息に必要な「水と緑と土」のある環境は、人が潤いある生活を営む上でも大切である。

プロフィール:しんむら・みつひで。1953年5月金沢生まれ。1977年名古屋大学理学部卒業、同年金沢市役所に就職。下水道部、保健環境部、環境局等において環境行政を担当。2009年4月より、産業局担当部長(兼農林部森林再生課長)。金沢ホテルの会幹事、全国ホテル研究会会員、日本ホテルの会会員。

◆ “春のクリーンキャンペーン”参加記 ◆

澤瀬 諭

5月30日(日)午前6時30分から金沢市一斉清掃に併せて、金沢クラブと当クラブ合同で金沢YMCA周辺の清掃を実施しました。その後7時から当クラブで例年取り組んでいる新桜坂緑地(通称W坂)を掃除し、綺麗になった坂を見上げ、参加メンバー一同自己満足しながら春のクリーンキャンペーンを終えました。



(ゴミ袋が左下に写っています。平口撮影。)

◆ “金沢わいわい寄席”実行委員会報告 ◆

北 肇夫

2010年11月7日(日)開催予定の“第8回金沢わいわい寄席(2010)”の第1回実行委員会が、去る4月27日(火)19:00から金沢YMCA集会室で開かれた。出席者は、構成員8名のうち朝倉秀之(金沢YMCA)、伊藤仁信・澁谷洋太郎(金沢クラブ)、川村孝治・平口哲夫・北 肇夫(金沢犀川クラブ)の6名、欠席者は数澤輝夫・幸正一誠(金沢クラブ)の2名であった。

まず各団体推薦の実行委員から委員長(北)・書記(平口)・会計(川村)の三役が選出され、ついで審議に入った。基本的事項は次のとおりである。

- ①開催日時:2010年11月7日(日)、14:30開演。
- ②会場:県立音楽堂 交流ホール。
- ③出演者:二代目森乃福郎師匠・ほか1名(後日、桂まめだ師匠に決定)。
- ④チケット販売単価:1,500円。
- ⑤チケット販売目標枚数:金沢YMCA 50枚・金沢クラブ 100枚・金沢犀川クラブ 100枚。
- ⑥チケット・ちらし・ポスターの配布時期:7月上旬。

今回の公演は、金沢犀川クラブが当番となり、公演日を休日の昼間に設定し、お年寄りや女性・子供たちも安心して来場できるように配慮した。また、高校生以下には特別優待券(無料券)を発行して子供たちの参加を促すことにした。皆さんのご協力をお願いします。

◆ 世界連邦運動とクリスチャン(その4) ◆

平口 哲夫

関西学院大学キリスト教と文化研究センター[編]『キリスト教平和と学事典』(教分館、2009)に世界連邦運動のことがどの程度紹介されているかと思って購入し、事項索引を繰ってみると、「世界連邦国家」というキーワードが掲載されていました。このキーワードは、「賀川豊彦」の項(88~90頁)の最後のほうで述べられた、以下の文章の中に出てきます。

“敗戦後、賀川はときの内閣の要請に従い、「一億総懺悔運動」を提唱した。また更に持論であった「世界連邦国家」の制定に向けて運動を開始した。〔中略〕1952(昭和27)年世界連邦会議を広島に開き、自ら議長を務めた。1954(昭和29)年賀川は世界連邦会議副議長に選出されている。1955(昭和30)年ノーベル平和賞候補者に挙げられるが、戦争中、アメリカの日本都市への無差別爆撃に対して行った非難の故に、受賞には至らなかった。”

賀川がノーベル平和賞受賞に至らなかったのは「無差別爆撃に対して行った非難の故」かどうか、私は疑問に思います。東北大学基督教青年会溪水寮の先輩に当たる河島幸夫西南学院大学法学部教授からいただいた著書『賀川豊彦と太平洋戦争』(中川書店、1994)に詳述されているように、太平洋戦争勃発後、賀川は軍部の圧力に屈して「大東亜戦争」を「正義の戦争」として援護するようになります。このような「転向」が受賞を逃した一因ではないでしょうか。

金沢YMCAのホームページ

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/kanazawa-YMCA.html>